

## 所信表明

### 信頼関係の構築は

### まずは対話から／町長



の構築についての方策と、「信頼」と「信用」の違いについて町長はどう考えているか。

**答**  
大西町長

信頼関係の構築については、とにかく地域へ入り対話をするところから始めたいと思っている。これについては、執行機関会議で意思統一を図った。

**問**  
これは、私が議員になって最初から質問している内容で、住民と行政の信頼関係を修復するために、まちづくりや活性化について質問をしてきた。

黒潮町のまちづくりは、まず、住民と行政の信頼関係を築くことが重要だ。これがまちづくりの土台であり、シナリオのベース。これができないと、住民と協働してまちづくりはできないと、私は何度も言ってきた。

そこで、住民との信頼関係

黒潮町は広いので時間はかかると思うが、地域の方々の意見を伺い、知恵を借りながら、実効性の高い施策を打ち出し、住民の理解、信頼を頂けるよう努力していきたい。地域へ入り対話をするについては、まず、住民の意見を伺い、行政報告による情報の伝達を行っていることについて知恵を借りられるような会にしていきたい。

「信用」と「信頼」については、信用とは、信じていただけのこと。その信用をいただくためには、まず、対話から始めたい。

「信頼」とは、文字どおり信じて、その上におかつ頼っていただけのこと。これについては、対話を持って信用関係を築き、その上に住民の意見を反映させた実効性の高い施策を打ち出し続けていくことによって、信頼関係を構築していきたい。



**問**  
商工会の元気な町は、活気のある街になっている。黒潮町に限っては無いが、商工業者は衰退の一途をたどっており、このような状況では商工会による町の活性化活動自体ができない状態となり、町内の雇用問題の大きな原因になっている。

商工会による町の活性化というのは、行政との話し合いの中で、まちづくりについての提案をし、その提案が町の活性化に反映し、必然的に、町が元気になる町ができる。町が元気になるようになってくると、人的交流も多くなり、そうなる

## 商工会と行政の関係は

今後は関係を密に  
／産業推進室長

## 商工振興

**答**

森下 産業推進室長

と町内の商工業は勝手に潤ってくる。そういった係わり方が商工会には要る。そのために町の活性化の基となる商工会と色々なまちづくりのために話し合いをするということとは、大事なことでないかと私は思っている。

住民福祉のためにも、商工業の活性化は必要不可欠だと思う。商工会と行政の関係は今後、どうあるべきかを聞く。

商工会の元気な町は街に活気があるという事例も多くあり、よく分かる。商工業者の衰退は雇用問題も含めて、町にとって大きな痛手になることもよく認識している。

今のところ具体的方策はないが、今後は商工会と行政の関係をもっと密にして話し合いの場を設け、商工業者の発想や意見を参考にしながら、商工会からの提案をいただき、今後も連携、協力を深めて行きたい。